

第6回

村上市展

第6回村上市美術展覧会が、11月2日(出)から4日(月)まで開催され、今年も部門ごとに、たくさん作品が展覧されました。

会場を訪れた人は、すばらしい作品の数々をじっくりと鑑賞し、文化の秋を堪能していました。

ここでは、今年の市展賞受賞者と入賞者を紹介します。

日本画部門



小杉 俊雄 氏
=上片町=

新潟日報美術振興賞
倉崎勝郎 氏(大久)
美術協会会長賞
吉田美保子 氏(緑町三丁目)
奨励賞
室本実智夫 氏(松波町)

【受賞者の声】

この度、力作揃いの応募作品の中から私の作品が市展賞に選ばれ、誠に嬉しく光榮に存じます。

日本画を描き始めて6年になりますが、岩絵具の使い方ひとつにしても試行錯誤の連続で、先生や日本画作品展に学びながら自分なりの作品制作を進めています。今回の作品は、冬の寝屋漁港に取材したのですが、薄く積もった雪とわたちの表現を工夫したつもりですが、まだまだ未熟で今後の習練が必要です。

今回の受賞を励み、より質の高い作品づくりを心がけて参りたいと念じております。

洋画・版画部門



木村 康雄 氏
=十川=

新潟日報美術振興賞
小室宗一 氏(羽黒口)
美術協会会長賞
井上清作 氏(新発田市)
奨励賞
本間陽一 氏(間島)
齋藤チイ子 氏(殿岡)

【受賞者の声】

画のモチーフに連の葉を書いてみました。家の近くで見ることのできたのが選んだ理由です。太陽の光を受けて緑色の大きな葉がひしめき合っている様子を描き出し、葉一枚一枚の配色が思うように描けず苦労の連続でした。構図も花を入れずに葉だけのシンプル一枚に「地味だな」と思ったのが本音です。今は、教室で自由に絵を描いているのが自分の作品にプラスになっているのだと思います。今回も多数の秀作の中から自分の作品が受賞したことに大変驚きました。まだ自分のスタイルが見つかっていませんが、これからの励みになります。

彫塑・工芸部門



齋藤 知行 氏
=塩町=

新潟日報美術振興賞
谷井三武 氏(下新保)
美術協会会長賞
高橋 泉 氏(荻太)

【受賞者の声】

この度は大変な賞をいただき、心よりお礼を申し上げます。正直、びっくりしております。

今回の作品の制作には、さまざまな方々のお力添えがあったからこそできたのです。ですから、関わっていただいた皆さんの賞とっております。本当にありがとうございました。

書道部門



おあたき みしゅう
大滝 美洵 氏
=宮ノ下=

新潟日報美術振興賞
本間美栄子 氏(飯野三丁目)
美術協会会長賞
相馬華釧 氏(吉浦)
奨励賞
村山美舟 氏(岩船三丁目)
伊与部幸仙 氏(瀬波中町)
大滝寿美子 氏(片町)
渡邊常教 氏(飯野二丁目)
鈴木祐竹 氏(大欠)

【受賞者の声】

この度は榮譽ある賞をいただき、心から御礼申し上げます。小学校の頃より書道を習い始め、今まで続けてきました。朗報を聞いたときは「私が？」と、本当に信じられない気持ちでいっぱいでしたが、時間が経つにつれて喜びへと変わってきました。

私は、筆を持つことが楽しく、これからも書道をしていきたいと思っています。受賞にあたり、ご指導してくださった恩師藤田先生、そしてたくさんの方々のお力添えに感謝申し上げます。ありがとうございました。

写真部門



たかし えりこ
高橋 衣里子 氏
=古渡路=

新潟日報美術振興賞
横井良人 氏(片町)
美術協会会長賞
工藤達朗 氏(堀片)
奨励賞
鷲尾憲人 氏(岩崩)
木村嘉次雄 氏(堀片)
貝沼久仁夫 氏(大場沢)
量山久彌 氏(岩船上大町)
板垣友里絵 氏(高根)

【受賞者の声】

まさかこんな賞をいただくなんて、今は喜びに浸っています。

私が写真を始めたいきっかけは、巨匠土門拳の戦後昭和20年代、貧しさの中にあっても生き生きと遊ぶ子ども達を撮ったモノクロ写真にとても魅かれ、父の形見のカメラを持ち歩くようになりました。時代の流れと共に生活様相も変わり、子ども達は家の中でパソコンやゲームに興じているのか、塾通いで忙しいのか、外で元気に遊ぶ姿を見かけなくなり、寂しい限りですが、今に生きる子ども達や大人達の日常の生活を切り取って写していきたいなと思っています。

市展賞受賞作品



▲写真部門「朝の風景」



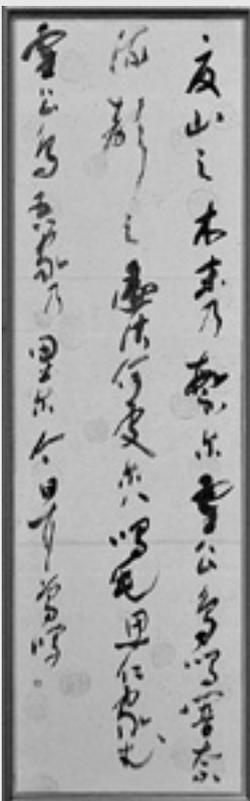
▲日本画部門「雪の漁港」



▲彫塑・工芸部門
「squarepusher (スクエアプッシャー)」



▲洋画・版画部門
「蓮」



▲書道部門「萬葉歌」